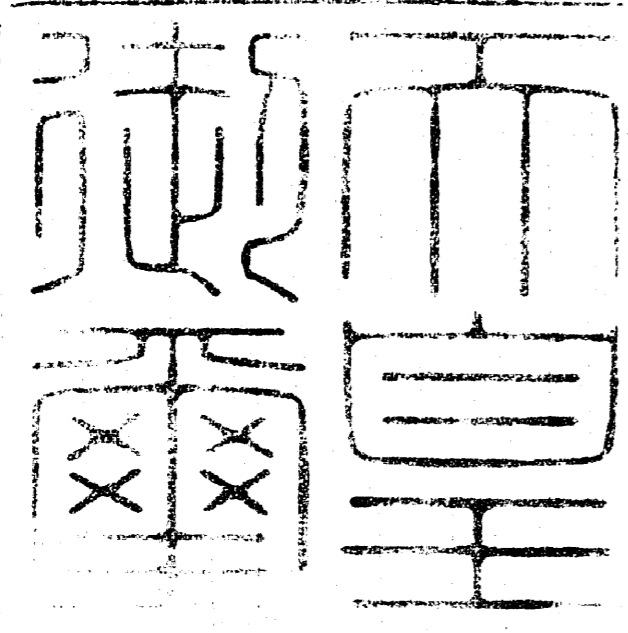


勅令第五百十九號

朕女子挺身勤勞令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布  
セシム

裕仁



昭和十九年八月二十二日

内閣總理大臣 小磯 國昭  
 軍需大臣 藤原 銀次郎  
 内務大臣 大角 素彦  
 厚生大臣 廣田 弘毅

勅令第五百十九號

女子挺身勤勞令

第一條 勤勞常時要員トシテノ女子（学徒勤勞令ノ適用ヲ受クベ  
 キ者ヲ除ク）ノ家族（以下女子挺身隊ト稱ス）ニ依ル勤勞協  
 力ニ關スル命令ニシテ國家勅員法第五條ノ規定ニ基クモノ並  
 ニ當該命令ニ依ル勤勞協力ヲルスベキ者及女子挺身隊ニ依ル從  
 事ヲ爲ス者ノ雇入、使用、就職、在職又ハ給與其ノ他ノ從業條  
 件ニ關スル命令ニシテ同法第六條ノ規定ニ基クモノニ關シテハ  
 本令ノ定ムルニ依ル  
 第二條 國家勅員法第五條ノ規定ニ依ル命令ニ依リ女子ガ女子  
 挺身隊ニ依リシス對テ努力（以下挺身、勞ト稱ス）ハ國、地方

公共團體又ハ厚生大臣若ハ地方長官（東京都ニ在リテハ警視總監以下同ジ）ノ指定スル者ノ行フ命令ヲ以テ定ムル總動員業務ニ付之ヲ爲サシムルモノトス

第三條 挺身勤勞ヲ爲スベキ者（以下隊員ト稱ス）ハ國民職業能力申告令ニ依ル國民登録者タル女子トス

前項該當者以外ノ女子ハ志願ヲ爲シタル場合ニ限り隊員ト爲スコトヲ得ルモノトス

第四條 引續キ挺身勤勞ヲ爲サシムル期間ハ特別ノ事情アル場合ヲ除クノ外概ネ一年トス

隊員ヲシテ引續キ一年ヲ越エ挺身勤勞ヲ爲サシムル場合ニ於テハ隊員ノ同意アルコトヲ要ス

第五條 挺身勤勞ヲ受ケントスル者ハ前項ノ定ムル所ニ依リ地方長官ニ之ヲ請求又ハ申請スベシ

第六條 地方長官前條ノ規定ニ依ル請求又ハ申請アリタル場合ニ於テ女子挺身隊ヲ出動セシムル必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村長（市町村長ニ準ズベキモノヲ含ミ東京府ノ區ノ存スル區、大阪府ノ市、大阪市、名古屋府ノ市、横浜市及神戸市ニ在リテハ區長トス以下同ジ）其ノ世ノ職務ノ長又ハ學校長ニ對シ隊員ト爲ルベキ者ヲ選抜スベキコトヲ命ズルモノトス

第七條 前條ノ命令ヲ受ケタル者ハ本人ノ年齢、身能ノ状態、家庭ノ状況等ヲ斟酌シ隊員ト爲ルベキ者ヲ選抜シ之ヲ地方長官ニ

報告スベシ

第八條 地方長官ハ前條ノ規定ニ依ル報告アリタル者ノ中ヨリ隊員ヲ決定シ本人ニ其ノ旨ヲ挺身勤勞令書ニ依リ通知シ挺身勤勞ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルモノトス

第九條 前條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル者ハ同條ノ規定ニ依ル指示ニ從ヒ挺身勤勞ヲ爲スベシ

第十條 挺身勤勞ヲ爲ス場合ノ女子挺身隊ノ組織及運営並ニ其ノ人員ノ規律ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 地方長官ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ事情アル場合ニ於テハ挺身勤勞ノ全部又ハ一部ノ停止ニ關シ必要ナル措置ヲ爲スコトヲ得

第十二條 挺身勤勞ニ要スル経費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ事情アル場合ヲ除クノ外其ノ挺身勤勞ヲ受クル者之ヲ負擔スルモノトス

第十三條 厚生大臣ハ軍需省所管企業ニ於ケル勤勞管理及給與ニ關スル事項ニ付テハ軍需大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ該家世帯員ニ第六條ノ規定ニ基キ挺身勤勞ヲ受クル事業主ニ對シ隊員ノ費用又ハ給與其ノ他ノ從價條件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

隊員カ業務上負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニ於ケル本人又ハ其ノ遺族ノ扶助ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ隊員ト爲ササルモノトス  
但シ隊員ニシテ第一號又ハ第二號ニ該當スルニ至リタルモノハ  
此ノ限ニ在ラズ

一 陸海軍軍醫

二 陸軍大臣若ハ海軍大臣ノ所管ニ屬スル官衙ハ部隊及學校ヲ  
含ムル又ハ厚生大臣ノ指定スル工場、事業場其ノ他ノ場所ニ  
於テ軍事上必要ナル業務ニ従事スル者

三 法令ニ依リ拘束中ノ者

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ志願ニ依ル場合ヲ除クノ  
外隊員ト爲ササルモノトス

一 厚生大臣ノ指定スル業務員及在任ニ従事スル者

二 陸生活ノ根柢タル者

三 其ノ他厚生大臣ノ指定スル者

第十六條 厚生大臣又ハ地方長官ハ命令ヲ發ムル所ニ依リ世身勤  
勞ニ關シ市町村長其ノ他ノ團體ノ長若ハ學校長又ハ隊員若ハ延  
身ノ勞ヲ受クル事業主ヲ指ス

第十七條 地方長官必要アリト認ムル場合ニ於テハ國家總動員法  
第六條ノ規定ニ基キ世身勤勞ヲ爲ササル者ニ對シ第六條ノ規定  
ニ依ル事業場又ハ事業場ニ係ル工場、事業場其ノ他ノ場所ニ就職ス  
ルコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ工場、事業場其ノ他ノ場所ノ事業主ハ國家總動員法第六  
條ノ規定ニ基キ前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ヨリ就職申

出テ受ケタルトキハ之ヲ雇入ルルコトヲ要ス

厚生大臣ハ軍需省所管企業ニ於ケル勤勞管理及給與ニ關スル事

項ニ付テハ軍需大臣ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ國

家總動員法第六條ノ規定ニ基キ第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケ

タル者又ハ前項ノ事業主ニ對シ第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケ

タル者ノ使用、従業又ハ給與其ノ他ノ従業條件ニ關シ必要ナル

命令ヲ爲スコトヲ得

第十三條第二項ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者

又ハ其ノ遺族ノ扶助ニ之ヲ準用ス

第十八條 第十三條ノ規定ハ地方長官又ハ國民總動員署長ノ爲

ス指專又ハ勸奨ニ基キ女子ガ女子ノ身障ニ依リ第二條ノ規定ニ依ル

ニ之ヲ準用ス  
第十九條 地方長官必要アリト認ムルトキハ本令ニ依ルルノ事  
ノ一部ヲ國民總動員署長ヲシテ分掌セシムルコトヲ得

第二十條 第十三條ハ第十七條第四項及第十八條ニ於テ準用スル  
場合ヲ含ム、第十六條及第十七條第二項及第三項ノ規定ハ  
事業主タル國及都府府縣ニハ之ヲ準用セズ

第二十一條 本令中厚生大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、  
知事ニ在リテハ臺灣總督トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ  
知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長トシ市町村長トアルハ  
知事ニ在リテハ府尹（京城府ニ在リテハ廳長）又ハ邑面長、

灣ニ在リテハ市長又ハ郡守（澎湖縣ニ在リテハ廳長）トシ國民  
労働局長著長トアルハ朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、臺  
灣ニ在リテハ市長又ハ郡守（澎湖縣ニ在リテハ廳長）トシ都道  
府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守ニ在リテハ州又ハ廳トス  
第二十二條 挺身労働ニハ國民労働協働力令ハ之ヲ適用セス  
第二十三條 本令ニ規定スルモノノ外挺身労働ニ關シ必要ナル事  
其ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス